

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



阿竹 智史

(徳島/90期)

G1にも出られるようになるし、今年後半戦から勝負だと思ってた。期待してなかったけど、地元記念が入ってうれしかったです。復帰してからそうだけど、地元記念でも調整なしで。運が来たら獲れると思うんで、あとは運だけです。

小川 真太郎

(徳島/107期)

最近は波があるけど、どうした?って成績のときはセッティングをいじってる時。宮杯は戻して良かったし、小松島も基本を大事にいきます。体調はいいし、まずは徳島から優勝者を出せるように。自分にもチャンスはあると思うので頑張ります。



竹内翼 (広島/109期)

5月久留米F1はオール連対のV。決勝はグレーツァートルーマンの外国勢を相手に大金星を挙げた。番手の友定祐の好アシストもあったが、圧巻の逃走劇で大穴配当を演出した。ここも大駆け期待だ。



落澤 鴻太郎 (群馬/111期)

S級初昇格を果たした関東のホープ。徹底先行のスタイルで順調に力をつけてきた。ダッシュ力、スピードはS級でも十分に通用しそうだ。初の記念参戦でファンにアピールする。



吉岡 篤志 (徳島/82期)

昨年12月に落車して長期欠場を余儀なくされたが、3月末に復帰してから徐々に調子を戻している。5月伊東F1では今年初優出を果たした。6年ぶりの地元記念で見せ場は作る。

S級 ブロックセブン

7/7 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

中西大―柴崎俊光の中近勢に期待。練習中に腰を痛めた中西は1カ月休んで5月松山全プロ記念から復帰。まだ精彩を欠くが、調子が戻れば先行一車のメンバーだ。自分の持つタイミングで仕掛けて押し切れるだろう。柴崎は度重なる落車があつて6月四日市G3が約9カ月ぶりの優勝だったが、これが再浮上のきっかけとなりそう。番手を守って差し切り逆転は十分。7車立てだし、田中誠、伊勢崎彰大はタテ脚で勝負か。田中は5月岸和田をV。決勝は上田堯の先行に乗り、後続のまくりに合わせて踏み出して決めている。5月松戸ダ1ビー一次予選を快勝、6月四日市G3を1③⑨①着の伊勢崎も緩んだタイミングを逃がさぬ一気攻撃が怖い。

実質、逃げイチの中西大



中西大